

ふれあい 夢 通信

10号

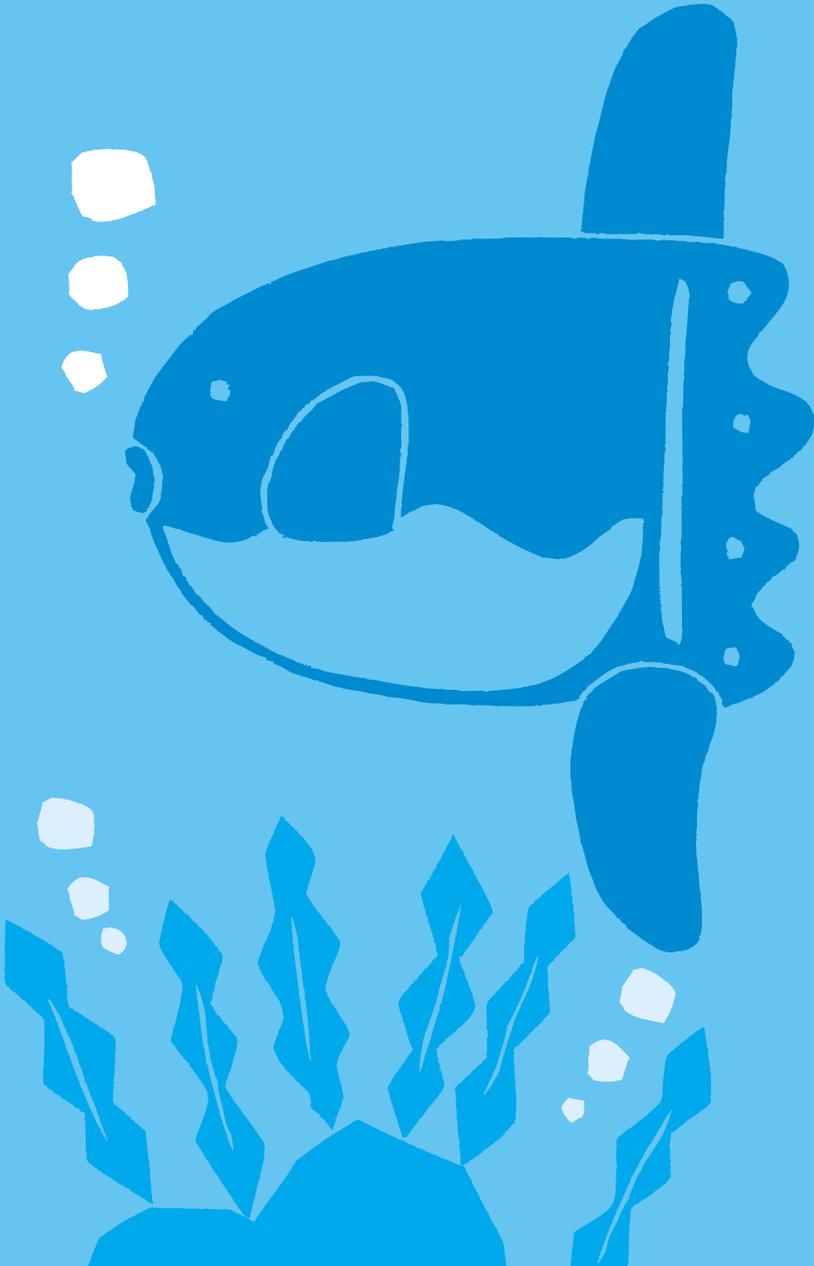
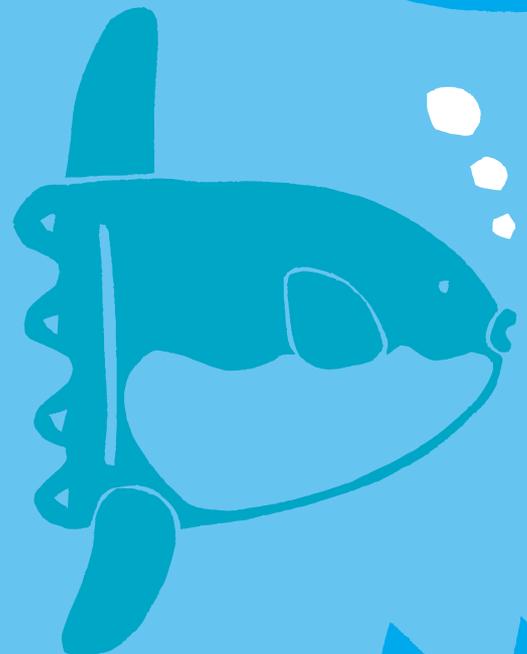
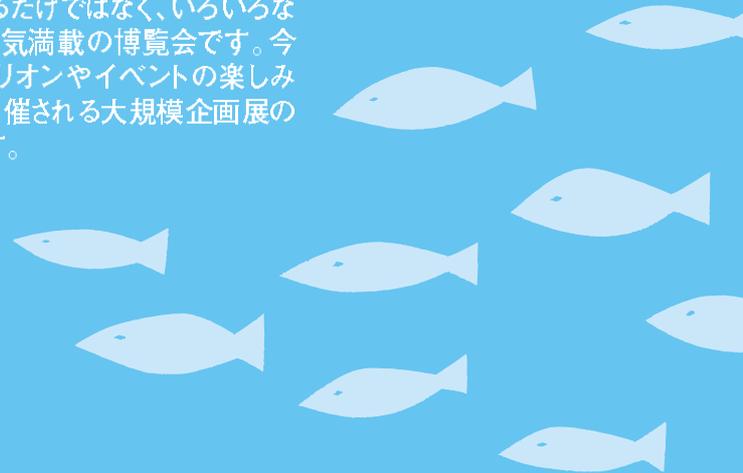
FUREAI YUME TSUUSHIN
子どもを真ん中に、山口県の教育を考える

山口県教育庁教育企画室
編集ホットライン TEL083・933・4531



特集 山口きらら博で学ぼう!遊ぼう!やってみよう! 元気のくにへようこそ ~山口きらら博~

いよいよ100年に1度の大会、博覧会が開催されます。山口きらら博は、楽しく遊べるだけでなく、いろいろなことを体験したり学んだりできる元気満載の博覧会です。今回の特集では、選りすぐりのパビリオンやイベントの楽しみ方を紹介します。また、会場外で開催される大規模企画展の見どころもあわせて紹介しています。



元気のくにへようこそ ~山口きらら博~



トライアスロン・ワールドカップ 8月12日(日) 女子12:30~ 男子15:15~

世界で初めて博覧会会場の中で開催されるトライアスロン大会として、世界中から注目を集めている世界最高水準の大会です。

学ぼう!

●プロスポーツのだいご味!

トライアスロンは、スイム・バイク・ランの3つの競技を1人でこなす厳しいスポーツ。プロスポーツのレベルの高さやかけ引きの面白さを間近に見て、感じて、学ぼう。

遊ぼう!

●開会式&アトラクション

オリンピック並みの開会式(8月10日(金)17:00)や沿道のアトラクションなど、観客もいっしょになって楽しめる応援イベントも見どころの一つ。遊び心いっぱいの応援で大会は大盛り上がり。

やってみよう!

●オリンピッククラスの興奮!

2004年アテネ・オリンピックのメダルを狙う選手たちが参加するワールドカップ。世界のトップレベルの選手たちと一体になって、オリンピッククラスの興奮と感動を体験しよう。



元 気満載の「山口きらら博」会場には、元気いっぱい、楽しいイベントが盛りだくさん。

とても全部は紹介できませんので、ここでは楽しく遊んで体験しながら学べる、とっておきのパビリオンやイベントをいくつか紹介します。



やまぐちお魚ビーチ 水とふれあいの楽しさ、海・川の豊かさ ラグーンゾーン

海の家をイメージした施設で、自然とのふれあいの楽しさ、豊かな自然の恵みなどを感じることができるパビリオンです。

学ぼう!

●未来の水産業の可能性を探る

水質汚濁や赤潮など水域環境の情報や未来の水産業を紹介。水産業に関するクイズもあります。

●古式漁業を知る

長門の港をにぎわしていた捕鯨漁の再現や、和船で櫓をこぐ「おしくらごう」など漁業の歴史を紹介。

遊ぼう!

●タッチングプール

かに、いそぎんちゃく、貝といった磯の生物に実際に手でふれて遊びながら学べるコーナー。

やってみよう!

●100mチクワづくり 8月5日(日)

日本最長・世界最長になるかもしれない100mのチクワ。もちろんその場で食べられます。

●お魚クイズバトル 8月16日(水)

三択式のお魚クイズバトル。最後まで勝ち残れるかな?優勝者には豪華賞品あり!



元気産業館 “ものづくり”が切り拓く未来 ~新時代への飛躍~ やまぐちゾーン

山口県のはつらつとした産業のすがたを見て、さわって、体感できるパビリオンです。

学ぼう!

●山口ものづくり人間ファイル

萩焼・大内塗・赤間硯などの伝統工芸を作り出す職人技や、現代の名工の仕事ぶりを映像で紹介。

●未来生活ギャラリー

山口の産業が作り出す未来生活をテーマにした展示。マルチメディアやバイオなどの最新技術が盛りだくさん。

遊ぼう!

●超電導サーフィン

公募したアイデアをもとに作られた未来の遊具。強磁場中で空中に浮遊するバーチャルサーフィンマシン。

やってみよう!

●ワークショップへおいでよ!

形状記憶合金で作るミニロボットや、氷で回るミニ扇風機など、未来技術を使って実際にものづくりを体験しよう。



大規模企画展 ～きらら博会場の外もにぎやか～

県立美術館、県立萩美術館・浦上記念館及び県立山口博物館では、今年7月14日から開催される山口きらら博にあわせて大型の企画展を開催します。

クロード・モネ展

県立美術館083-925-7788

7月5日(木)～9月30日(日)午前9時～午後6時(入館は5時30分まで)

皆さんは、クロード・モネという画家を知っていますか。1840年生まれのパリ人画家で、1926年、86歳で亡くなりました。日本のこともよく知っていて、1923年の関東大震災の時には、自分の絵を売ったお金を送った日本の被災者のために寄付するといったこともありました。

「印象派の巨匠」モネは、世界中で最も人気のある画家のひとつで、作品は世界のいたるところに散らばっています。今回の展示会は、フランス、スイス、オランダ、アメリカをはじめ、世界各地から作品を借りて開催されるもので、日本で初めて見ることでできる作品も含めて約60点が展示されています。



エフ川のボート遊び
(1800年 サンパウロ美術館)



シヴェルニーの自らの庭でのモネ
(1913年頃)

特別企画展 ゆめ探検館

県立山口博物館083-924-0294

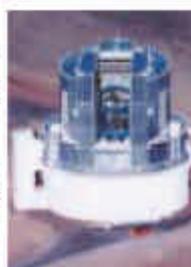
7月26日(木)～9月24日(月)午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)

あなたの「ゆめ」はどんな「ゆめ」ですか。山口博物館では、近代化への「ゆめ」、すばる望遠鏡と宇宙への「ゆめ」、3次元世界への「ゆめ」の3つの「ゆめ」を紹介します。

森末から明治にかけて、わが国は外国の技術を取り入れて近代化を図りました。近代化を進めた人たちの「ゆめ」は何であったのか、多くの貴重な資料をもとにその一端を紹介します。

ハワイ島に建設された世界最大級のすばる望遠鏡、宇宙の果てから原子の中まで、映像やコンピュータで探るコーナーを通して宇宙への「ゆめ」を紹介します。

3Dアニメーション「銀河鉄道999」の鑑賞や、最新の立体画像など、最先端技術による3次元世界の「ゆめ」を紹介します。



すばる望遠鏡(国立天文台)



©松本 賢士・美術アニメーション
©東映・VSL・DA 2000

色彩の遊び メルツバッハー・コレクション展

県立萩美術館・浦上記念館0838-24-2400

7月28日(土)～9月28日(金)午前9時～午後5時30分(入館は5時まで)

メルツバッハー・コレクションは、スイス在住のメルツバッハー夫妻が30年以上にわたって収集した世界的に知られる西洋美術のコレクションです。今回は「色彩の遊び」をテーマに、＜印象派からフォーヴィズムまで＞、＜ドイツ表現主義＞、＜現実を超えて＞の3つのセクションに分けて、セザンヌ、モネ、ルノワール、ゴッホ、ロートレック、ピカソ、モディリアーニ、マティス、カノディンスキー、クレイ、シャガールなど、19世紀末から20世紀中葉までを代表する画家たちの名品87点を紹介します。個人コレクションとしてこれほどの作品が一堂に公開されるのは日本で初めて。新しい芸術を求めて繰り広げられる色彩の美の世界に御期待ください。



庭の音楽の中に座る婦人
(アンリ・ルソー・ロートレック)



座るジャンヌ・エビュルリス
(アーメデオ・モディリアーニ)

ゴッホと浮世絵 タンギー爺さん

県立萩美術館・浦上記念館0838-24-2400

8月22日(水)～9月30日(日)午前9時～午後5時30分(入館は5時まで)

約100年前、ヨーロッパで日本ブームが起きました。ジャポニズムが流行し、多くの芸術家たちが日本の美術・工芸品に影響を受けました。

中でも、浮世絵を忠実に油絵で模写したゴッホは最も日本に傾倒した画家といえます。背景に浮世絵の描かれた「タンギー爺さん」は、日本をユートピアと思い描いたゴッホを象徴する作品であるばかりでなく、ジャポニズムを代表する作品であり、近代フランス絵画の名作です。この展示会では、「タンギー爺さん」と背景に描かれた元の浮世絵版画を併せて展示することにより、19世紀の日本趣味の諸相の中にあつた一断面を紹介し、浮世絵がゴッホに与えた影響とジャポニズムについて振り返ります。



タンギー爺さん(フィンセント・ファン・ゴッホ)

地域みんなの参観日

萩市立木間小・中学校

萩市の山間部にある木間小・中学校では、児童生徒の数が年々少なくなってきており、地域の方がPTA賛助会員となって、地域とのふれあいを大切に



人数は少なくとも元気いっぱい。

ながら地域・保護者・学校が一体となって子どもたちを育てています。

今年で5回目を迎える「ふれあい参観日」は、保護者だけでなく、地域の方を招いて授業参観などを行う行事です。今年には保護者や地域の方40名が参加し、授業参観では子どもたちと一緒にオリジナル曲「木間の子どもたち」や「ふるさと」「おぼろ月夜」などを大合



みんなで食べる給食はおいしいね。

唱しました。また、授業参観の後に行われた給食会は、学校や地域の様子などを語り合いながら、なごやかな会食となりました。

ふるさと大島再発見

橘町立安下庄中学校・日良居中学校

橘町の2つの中学校の2年生38人が、大島商船高等専門学校の練習船「大島丸」に乗り、大島を一周する洋上研修に参加しました。ふるさと大島を再発見し、郷土愛を深めるため、橘町教



船内には厳しいルールがあります。

育委員会が主催したものです。

はじめに船内の組織や役割、危険予防のための厳しいルールなどについて説明を受けた生徒たちは、初めて体験する船上の緊張感に圧倒されていました。その後は45億年前からの大島の歴史について学んだり、クイズ形式で大島の自然や産業の問題に挑戦したりし、和やかな雰囲気の中で研修を楽しみました。



大島って本当に大きい！

この日は朝からあいにくの雨模様でしたが、大島大橋の下を通過する頃には雨も上がり、生徒たちは、普段見ている大島とは少し違う、雄大なふるさとの姿をいつまでも眺めていました。

異世代交流で思いやりの心を

聖光高等学校

光市にある聖光高等学校は、昭和4年創立の男女共学校です。

3年前、国の総合学習の研究指定を受けたことをきっかけとして、地域との交



お兄ちゃんたちより上手だよ。

流を深める活動に一段と力を入れています。特に、少子化や高齢社会などの社会問題に対応した学習活動の一環として、幼児やお年寄りとの異世代交流にも積極的に取り組んでいます。

生徒たちは併設されている幼稚園の園児たちと共に老人ホームを訪れ、園児と一緒に作ったクッキーをお年寄りにプレゼントし、幼児・高校生・お年寄りが



みんなで楽しくゲームをしよう。

一緒になって歌やゲームなどを楽しみました。同校では、異なる世代の人と接することにより、互いを思いやる気持ちや生きる喜びを育てようと、このような取り組みを続けています。

わたしたちの学校ではこんな環境問題への取

小学校では

まちをきれいに・クリーン作戦 美祢市立城原小学校

城原小学校では、5年前からふるさとに目を向けた学習に取り組んでいます。その中の一つ「クリーン作戦」は、年2回、集団下校時を利用して、全校児童が地域のごみを拾い集める活動です。



昨年からは単なる清掃奉仕活動にとどまらず、環境に関する意識を高めようと、活動の前にリサ

こんなところにもごみが。イクルの学習用

ビデオを見たり、市のごみの分別収集について話し合う機会を設けています。

今年第一回目の活動では、子どもたちは回収後のことを考え、空き缶や空きビン、燃えるごみなど、いくつもの袋に分類しながら、班長を中心に全員が意欲的に活動し、袋がいっぱいになるほどごみを拾いました。



これは燃えるごみ?燃えないごみ?

活動後の話し合いや感想文には「自分たちは捨てないようにしよう」、「ふるさとをいつまでも美しくしよう」



こんなにいっぱい集まりました。

など、環境を守ろうという子どもたちの強い気持ちがあらわれていました。

中学校では

島の花「はまゆう」を守ろう 豊北町立角島中学校

角島中学校では、エメラルドグリーンの海に囲まれた美しい角島の自然を守り続けるため、生徒たちの発案により毎週2回の「浜清掃」を行っています。生徒会を中心として、生徒たちは自主的に海藻類を集め



て埋めたり、ごみを収集したりします。

また、観光客が多くなる夏休み前には、角島

浜には流れ着くごみや海藻がいっぱい。

の花「はまゆう」の群生地の清掃を行います。この活動は20年以上も前からずっと続けられています。

今年4月、角島大橋が開通し、多くの観光客が島内を訪れるようになりました。観光客が増えると島の環境が破壊されるのではと心配されていますが、生徒たちは



今の角島が好きだから、がんばる。

「今の角島が好きだから、活動を続けたい。観光客の人たちがごみを捨てにくくなるようにきれいにしたいと、島の環境を守る活動に参加しています。」



はまゆう群生地をいつまでもきれいに。

角島の豊かな自然は、子どもたちの美しい心によっていつまでも美しく守られていくことでしよう。

り組みをしています。

高校では

小さなことから大きな力へ 山口中央高校

山口中央高校では、青少年赤十字部(JRC)が中心となって、牛乳パック、プラタブ、使用済みテレホンカードの回収などのリサイクル活動に取り組んでいます。生徒たちは環境・福祉問題への関心が高く、資源の回収によく協力しています。



牛乳パックは洗ってたたんで一まとめに。一つに指定され

ており、集まった牛乳パックは2か月に1度回収されます。2か月で約10kgもの牛乳パックが集められ、紙資源として再利用されます。

集めたプラタブは市の社会福祉協議会を通じて障害のある方への車椅子の寄付に、また、使用済みテレホンカードは発展途上国への寄付金につながっていきます。1年間で、プラタブは10~15kg、テレホンカードは100枚程度集まります。



テレホンカード回収箱。何枚集まったかな？



地道にコツコツとがんばっています。

同校は、山口市牛乳パック回収推進協議会の回収場所の

“Think globally, act locally”をモットーに地道な活動を続けています。



ここまでやるかはさておいて、捨てるより先に、大切に使うことをまず考えようね

ひと言

日本を世界の環境先進国に



山口県環境保全活動推進アドバイザー
安達 智

山口県の「良さ」を尋ねてみると、80%以上の方が「自然が豊か、美しい」と答えています。

学校における地域清掃活動やリサイクル活動では、環境学習がよく組み合わされており、その場に行ってみると、感心させられたり、着眼点にびっくりすることが多くあります。

21世紀は「環境の世紀」といわれます。世界の中では深刻な環境問題が沢山発生することが予想されていますが、そんな中、日本が環境先進国となって世界をリードし、平和な世界を築けたらと思います。

今、学校で活動体験をとおして学んでいる多くのことが、将来きっと実を結び、日本だけでなく世界の環境と平和に大きく役立つことでしょう。

イベントカレンダー

7/29(日)

昆虫教室

対象/小学生以上 定員/40名
●県立山口博物館 ☎083-922-0294

8/4(土)~8/6(月)

われら瀬戸内探検隊
~無人島体験~

対象/小学6年生~高校生 定員/30名
●県大島青年の家 ☎08207-6-0913

8/5(日)

おもしろ!ふしぎ!工作教室
~科学工作に挑戦しよう~

対象/小学生 定員/40名
●県ふれあいパーク ☎0827-63-1513

8/6(月)~8/8(水)

阿武川くんだり

対象/小学5年生~中学生 定員/40名
●県萩青年の家 ☎0838-22-4730

8/7(日)~8/10(金)

ワイルド・ワイルドキャンプ
2001年冒険の旅

対象/小学生~高校生 定員/30名
●県石城山青少年宿泊訓練所
☎0820-48-2108

8/8(水)~8/10(金)

冒険いっぱい夢いっぱい
~いかだをこいで無人島へ行こう~

対象/小学4年生~高校3年生 定員/60名
●県油谷青年の家 ☎0837-32-1000

8/11(土)

ハートピアセミナー・2001

~よりよいむさあいつながろう 子どもの心と~
会場/山口市民会館大ホール
●県教育研修所 ☎083-987-1242

9/8(土)~9/9(日)

秋吉台の美味しい、おは梨

対象/小・中学生と家族 定員/40名
●県秋吉台青少年宿泊訓練所
☎0837-62-0106

11/9(金)~11/10(土)

図書館振興県民のつどい

●県立山口図書館 ☎083-924-2111

放送大学の学生を募集

平成13年度第2学期(10月授業開始)
●放送大学山口学習センター
☎0836-88-3020

編集室から

「ふれあい夢通信」の内容を充実させるために、皆様からのご意見やご感想をお待ちしています。今後取り上げたいテーマなどがありましたら、教育企画室までお知らせ下さい。

山口県教育庁教育企画室

住所 〒753-8501 山口市滝町1-1

電話 083-933-4531

ファックス 083-933-4539

電子メールアドレス a501001@prefyamaguchi.jp

8/7(火)~8/10(金)
秋吉台青少年少女キャンプ

雄大な秋吉台での野外活動(テント泊・野外炊事・ハイキング・洞くつ探検など)を通して、仲間づくりをしませんか。

対象/小学校4~6年生 定員/40名

●秋吉台青少年宿泊訓練所
☎0837-62-0106

8/8(水)~8/12(日)
わんぱくチャレンジキャンプ

シーカヌーや船上からの釣り、無人島での生活などダイナミックにさまざまな体験に挑戦してみませんか。

対象/小学校4年生以上 定員/40名

●県光青年の家
☎0833-72-5512

8/10(金)~8/12(日)
チャレンジMTB

~小京都・津和野へツーリング~

小京都・津和野へマウンテンバイクでツアーしませんか。ドームテントを張り、野外炊事も楽しめます。夏の思い出作りをしに来ませんか。

対象/小学5年~中学3年 定員/40名

●県十種ヶ峰青少年野外活動センター
☎08395-8-0033

こどものミュージアムスクール01 親子ギャラリーツアー

8/13(月)・8/14(火)
「色彩の遊び」9/8(土)・9/22(土)
「タンギー爺さん」

対象/高校生以下の子どもとその保護者
定員/各10組

山口きらら博を記念して開催される2つの大規模企画展に、より親しむ絶好の機会です。家族みんなで日本美術と西洋美術の交流について考えてみましょう。

●県立秋美術館・浦上記念館
☎0838-24-2400

秋吉台エコ・ミュージアム

自然観察指導員の案内で秋吉台の魅力に触れる

オープン2年目を迎えた秋吉台エコ・ミュージアムでは、月に1度、秋吉台の自然や周辺の歴史・文化などを自然解説指導員がわかりやすく解説する自然環境学習会を開催しています。また、予約のあった来館者へは、時間や人数、体力に合わせたコースを設定し、秋吉台ガイドウォークを実施

しています。小学校の遠足などの際は、指導員が出かけて行ってガイドを行っており、一般の観光客があまり歩かないコースも楽しめて好評です。

●秋吉台エコ・ミュージアム
☎08396-2-2622

秋吉台エコ・ミュージアムでは「秋吉台エコ倶楽部」を設立し、エコ・ミュージアムの運営などを手伝ってくれるボランティアスタッフを募集しています。